

平成30年度 全国多自然川づくり会議

大阪ふれあいの水辺
（自然再生ゾーン）
～地域と連携したエコアップ～

大阪府 西大阪治水事務所
水都再生課 山崎 誠

もくじ

1. 大阪ふれあいの水辺事業とは
2. 大阪ふれあいの水辺はどんなところ
3. 「自然再生ゾーン」の環境整備(エコアップ)とは
4. 利活用と維持管理について
5. さいごに

1. 大阪ふれあいの水辺事業とは



大阪ふれあいの水辺事業

基本コンセプト

「人と水辺の絆の復活」

～心に響く都心のオアシス～

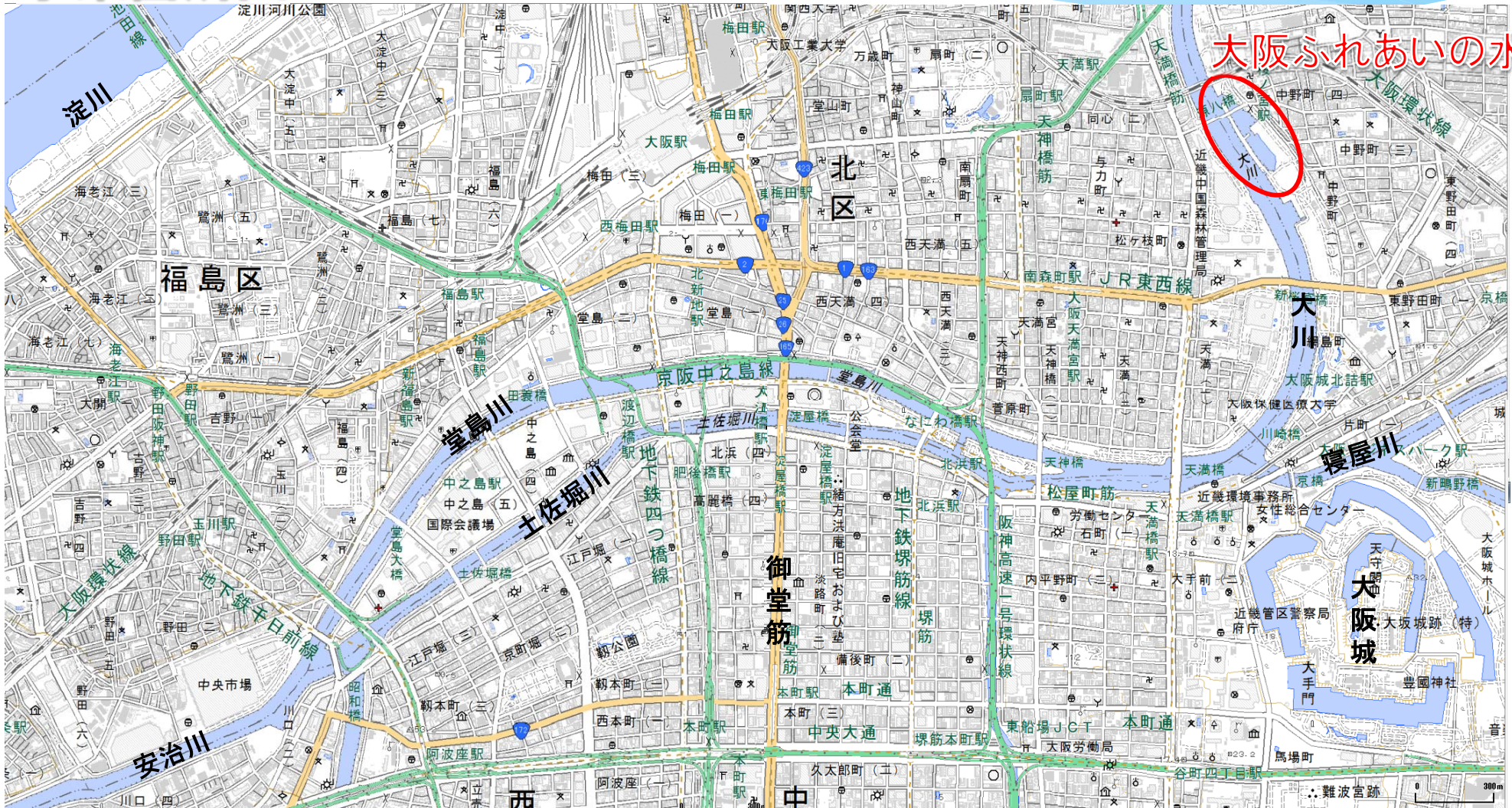
砂浜ゾーン

川に触れ、水辺でスポーツやくつろぎを感じる空間

自然再生ゾーン

水辺の動植物の観察など、自然を感じる空間

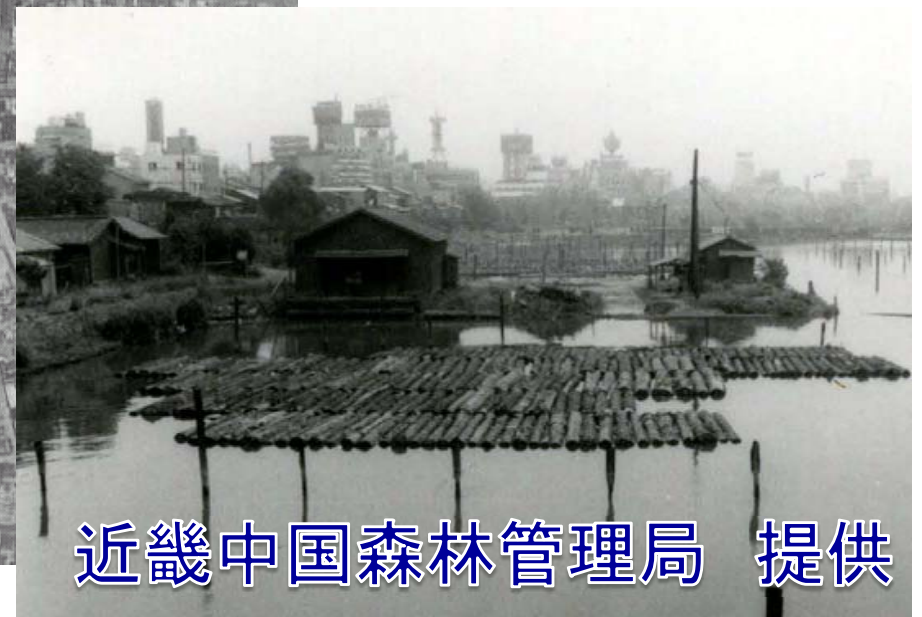
事業箇所図



大阪ふれあいの水辺

貯木場

航空写真では昭和40年代後半まで貯木場利用されていた



毛馬桜ノ宮公園整備

航空写真では昭和50～54年ごろ整備されている



貯木場跡地やその周辺では、水難事故やブルーテントなどもあり、あまり良い環境というイメージではなかった。



平成22年12月 砂浜ゾーン
工事着手

平成24年3月 本格オープン

現在では、「桜ノ宮ビーチ」の愛称で地元の皆様に親しまれる





平成22年12月 砂浜ゾーン
工事着手

平成24年3月 本格オープン

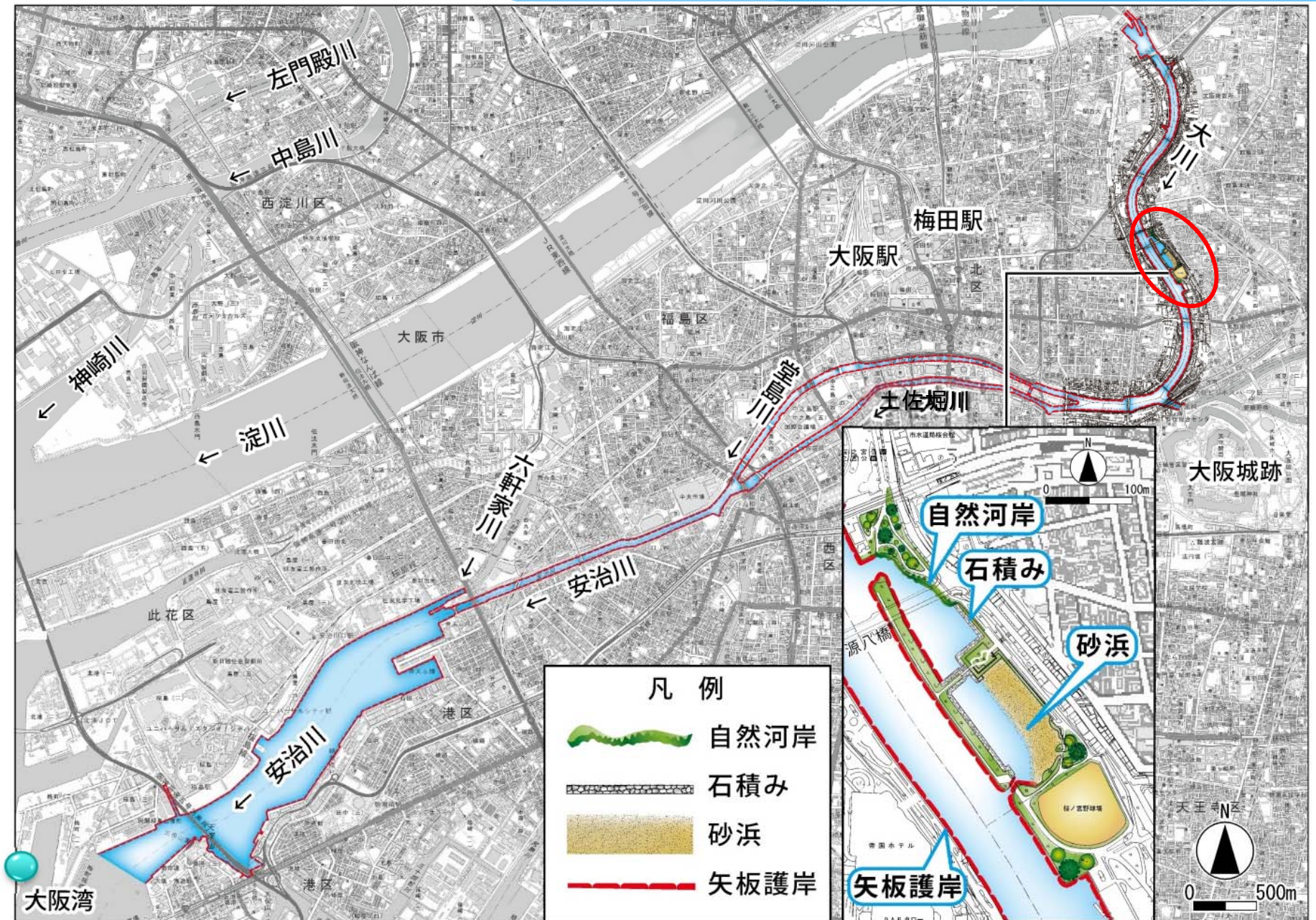
現在では、「桜ノ宮ビーチ」の愛称で地元の皆様に親しまれる

そして、平成30年1月

自然再生ゾーンを工事完了

2. 大阪ふれあいの水辺は どんなところ

2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【地形】から見た大阪ふれあいの水辺



2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【地形】から見た大阪ふれあいの水辺

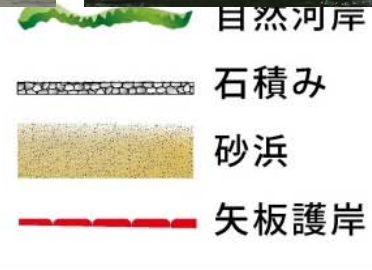


代表的な護岸の形状

大川（大阪ふれあいの水辺前）



堂島川（ほたるまち前）



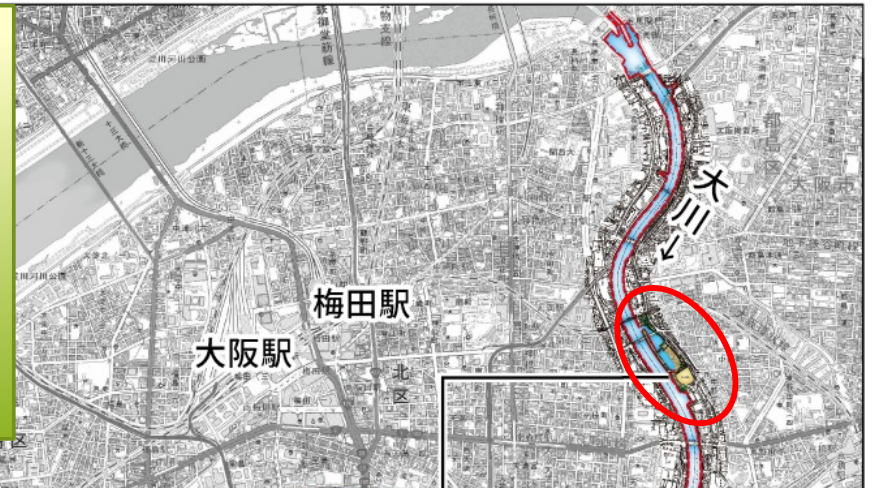
2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【地形】から見た大阪ふれあいの水辺

- 石積み、浅場（自然河岸）、砂浜等の多様な形状の水際が存在する **都心部で唯一の環境**
- 緩流域、感潮河川（低塩分）



2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【地形】から見た大阪ふれあいの水辺

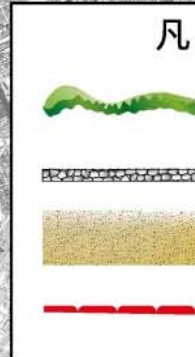
- 石積み、浅場（自然河岸）、砂浜等の多様な形状の水際が存在する **都心部**で**唯一の環境**
- 緩流域、感潮河川（低塩分）



干潮時



満潮時



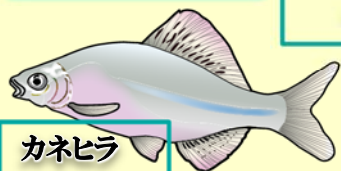
2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【生物相】から見た大阪ふれあいの水辺

■『大阪ふれあいの水辺』の魚類相のまとめ

- 純淡水魚が全体の約7割を占める
- 汽水・海水魚、回遊魚が生息（海域との連続性）
- 河川の中～下流域の魚類相（城北ワンド群との共通種が多い）
- 二枚貝との共生関係にある カネヒラ、カワヒガイが生息
- 『大川』（大川本流）より 確認種数が多い

川の魚

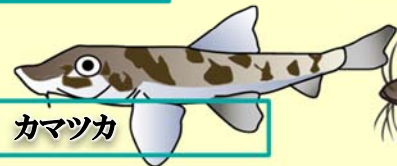
- この他に、
 - ・ ヨイ ・ オイカワ ・ ギンブナ ・ ヨシノボリ類
 - ・ コウライモロコ など



カネヒラ



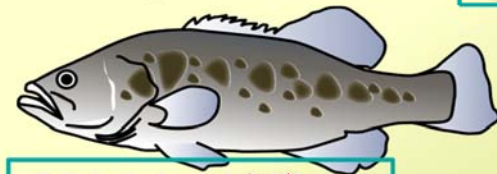
カワヒガイ(婚姻色)



カマツカ



ギギ



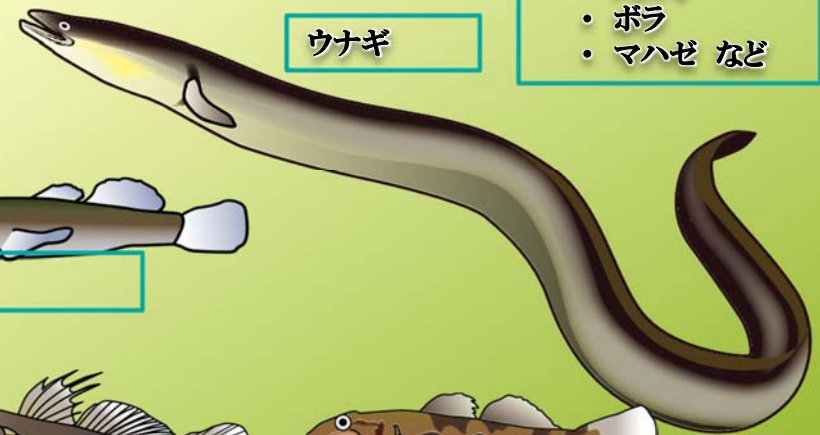
オオクチバス(外来種)



ブルーギル(外来種)

海と川を行き来する魚

- この他に、
 - ・ スズキ
 - ・ ポラ
 - ・ マハゼ など



ウナギ



ウキゴリ



ヌマチチブ



ゴクラクハゼ

2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【生物相】から見た大阪ふれあいの水辺

16

■ 『大阪ふれあいの水辺』の底生動物相のまとめ

- 河川の中～下流域の底生動物相
- クロベンケイガニが多く生息

- ・各年度、およそ 1,000個体の生息を確認
- ・稚ガニ（甲幅1cm以下）はおよそ5%（H28実績）

■ クロベンケイガニ



護岸の隙間は、隠れ場所



2 大阪ふれあいの水辺はどんなところ 【生物相】から見た大阪ふれあいの水辺

17

■『大阪ふれあいの水辺』の鳥類相のまとめ

- 水辺がある都市公園の一般的な鳥類相
- 水鳥は、カモ類、サギ類、セキレイ類、ユリカモメ等が生息
- 重要種のイソシギは、ほぼ毎年生息を確認

水辺の鳥



■『大阪ふれあいの水辺』の植物のまとめ

- 植栽種、外来種主体の植物相
 - ・植栽種、外来種が全確認種の約 1/2を占める
- 植栽樹木群が広く分布する植生
 - ・ほぼ全域にメタセコイヤ、クスノキ、ソメイヨシノ等が植栽

3. 「自然再生ゾーン」の 環境整備とは

【計画・設計】

- ① 住民参加型ワークショップ開始 (H22. 11)
- ② WSによる整備構想策定 (H26. 3)
- ③ WSメンバーの学識経験者を中心した環境評価チームにより、環境調査結果の評価と整備構想ブラッシュアップ (H29. 2)



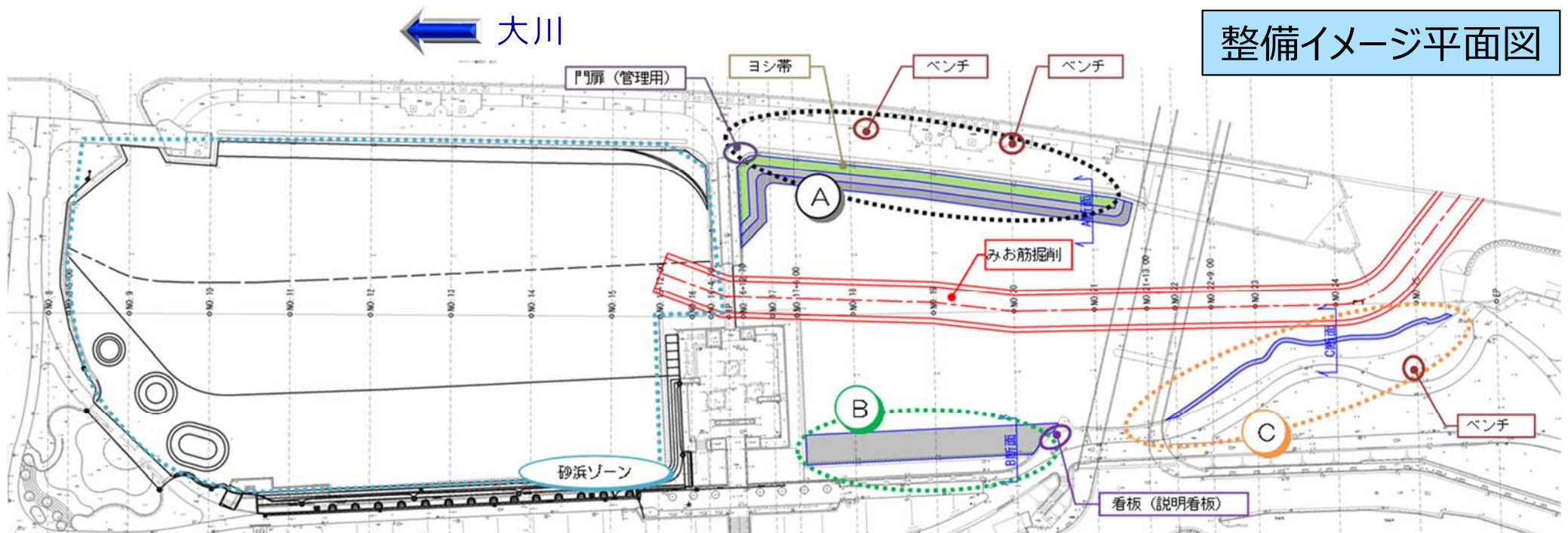
第13回ワークショップの様子



第15回ワークショップの様子

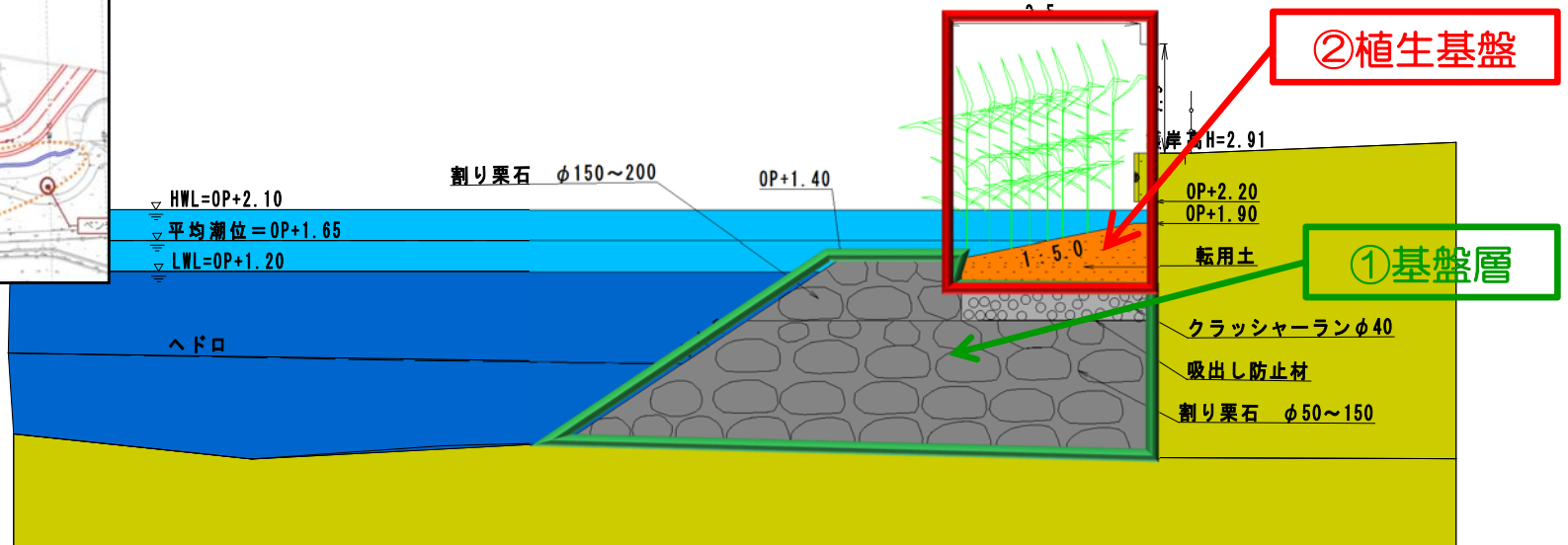
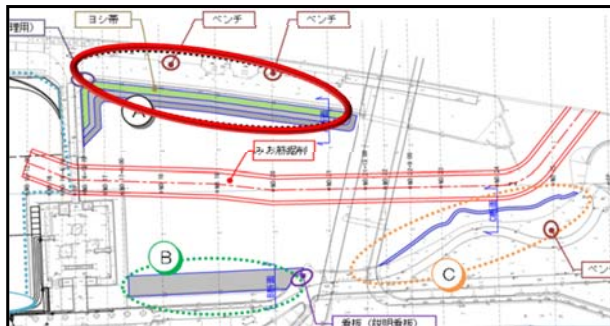
整備方針

- 生き物を守る
 - 現況を大きく改変しない整備、現在生息する種への影響が少ない施工方法を選定する
 - 河岸に生育するヨシ等の抽水植物帯を整備し、新たな環境を形成し、生物の多様性を図る
- やわらかく育てる
 - コンクリートを極力使用せず、屈撓性がある構造のもので整備し、改良しやすい構造とする
- 生き物とのふれあい
 - ベンチや進入施設及び看板を設け、環境学習に利用できる場を形成する



Aゾーン

ヨシ植栽による水生生物の生息場の保全、景観向上



①基盤層

- ・ドライ施工を必要としない
- ・ヘドロを除去せず、割栗石等で底上げ
- ・前面に捨石

②植生基盤

- ・植生基盤高 … 遊歩道側からヨシの穂先が最大1.5m程度 (ヨシの高さ:2.5m)
- ・1 : 5.0 の緩勾配 (潮位差を考慮)
- ・幅員 … 2.5m (維持管理、鬱蒼とならないよう)
- ・層厚 … 50cm程度 (ヨシ地下茎の伸長を考慮)
- ・ヨシは地下茎を含む転用土、または植生淀川の河川土砂を使用

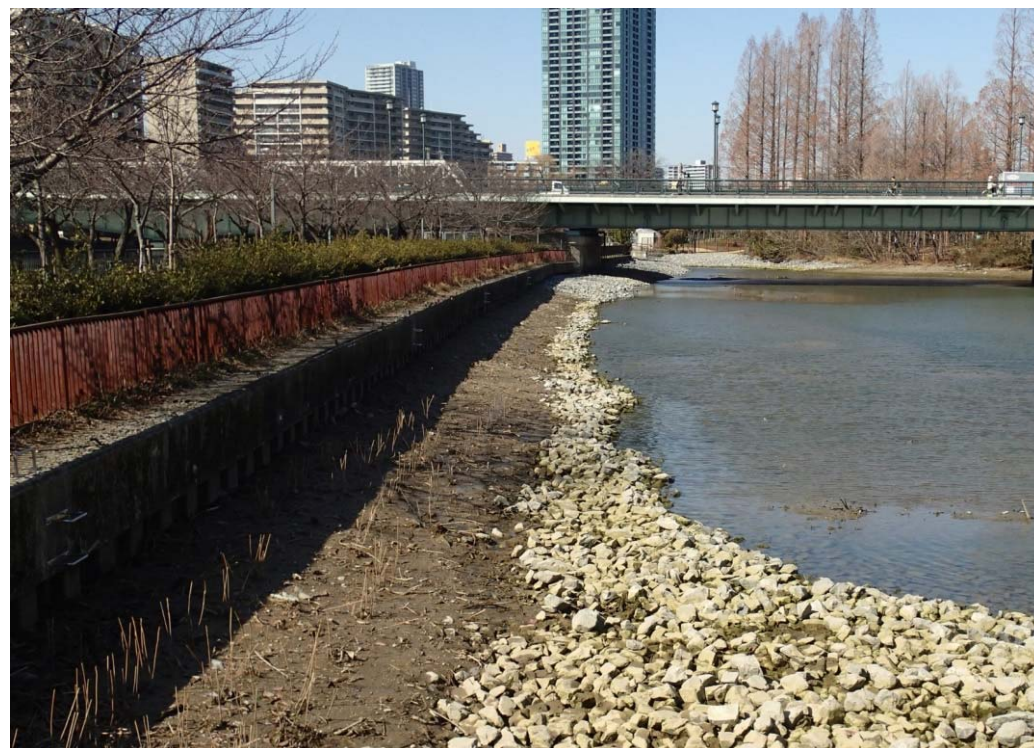
Aゾーン

ヨシ植栽による水生生物の生息場の保全、景観向上

整備前

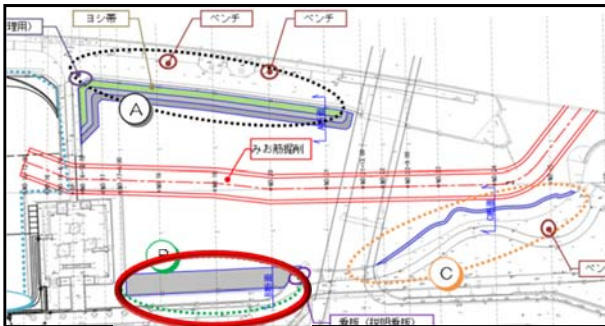


整備後

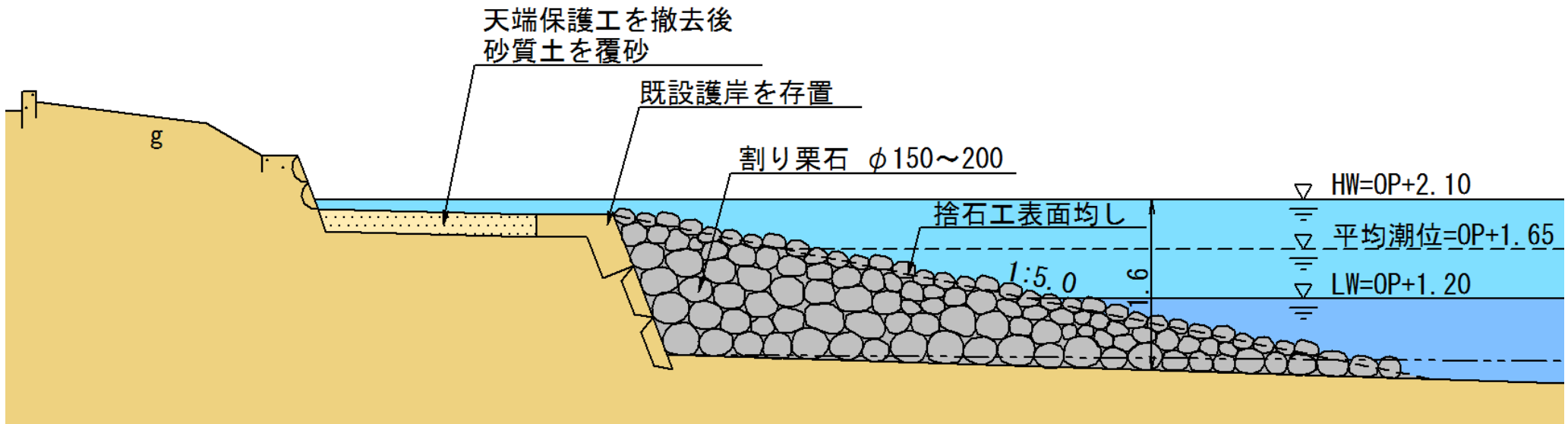


Bゾーン

クロベンケイガニ生息場のエコアップ（稚ガニ遡上）



- ・ 既設護岸を残置（クロベンケイガニが護岸隙間に生息）
- ・ 護岸から緩勾配 1:5.0 で捨石敷設
- ・ 護岸天端のコンクリート撤去、砂質土に置き換え



Bゾーン

クロベンケイガニ生息場のエコアップ（稚ガニ遡上）

整備前

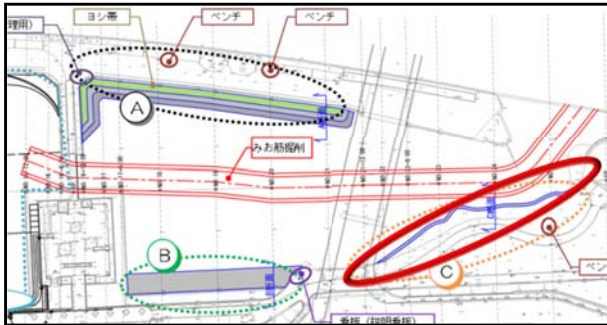


整備後

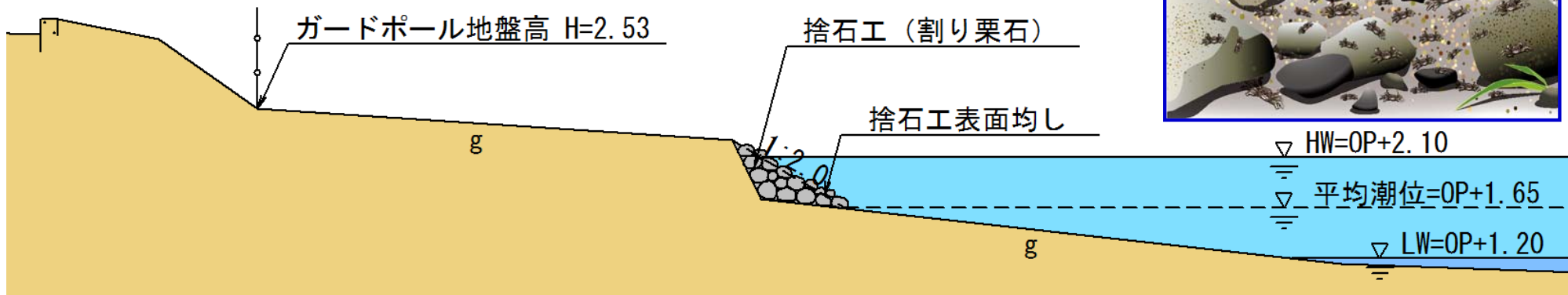
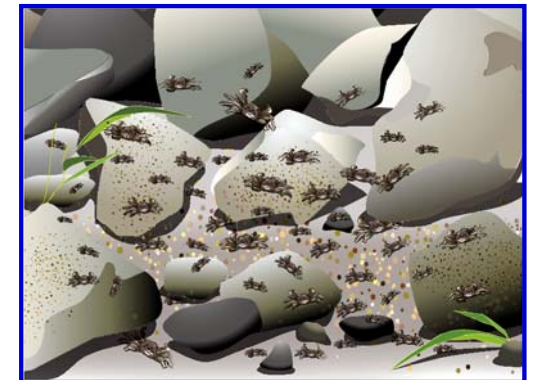


Cゾーン

自然河岸の保全（浸食防止）
生物の生息場・水際環境の連続性の保全



- ・ 自然河岸が残存 → 現況の環境を保全
- ・ 捨石（1：2.0 勾配）による河岸保護



Cゾーン

自然河岸の保全（浸食防止）
生物の生息場・水際環境の連続性の保全



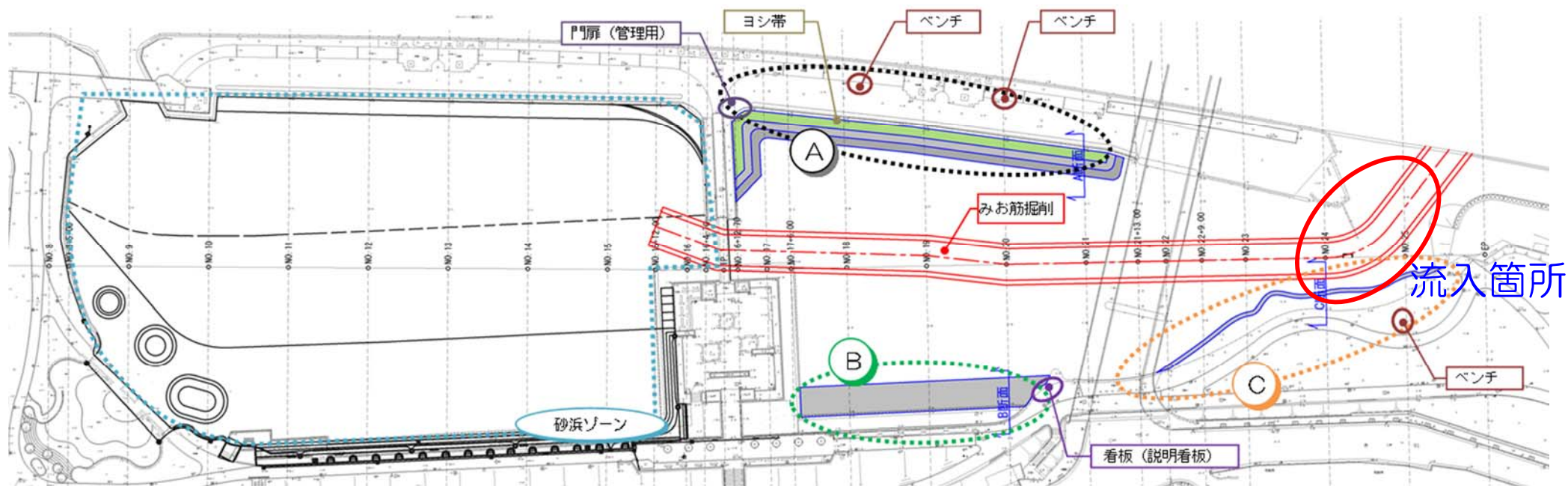
Cゾーン

自然河岸の保全（浸食防止）
生物の生息場・水際環境の連続性の保全



みお筋掘削

流れの形成によるヘドロ堆積・水草繁茂の抑制



みお筋掘削

整備前

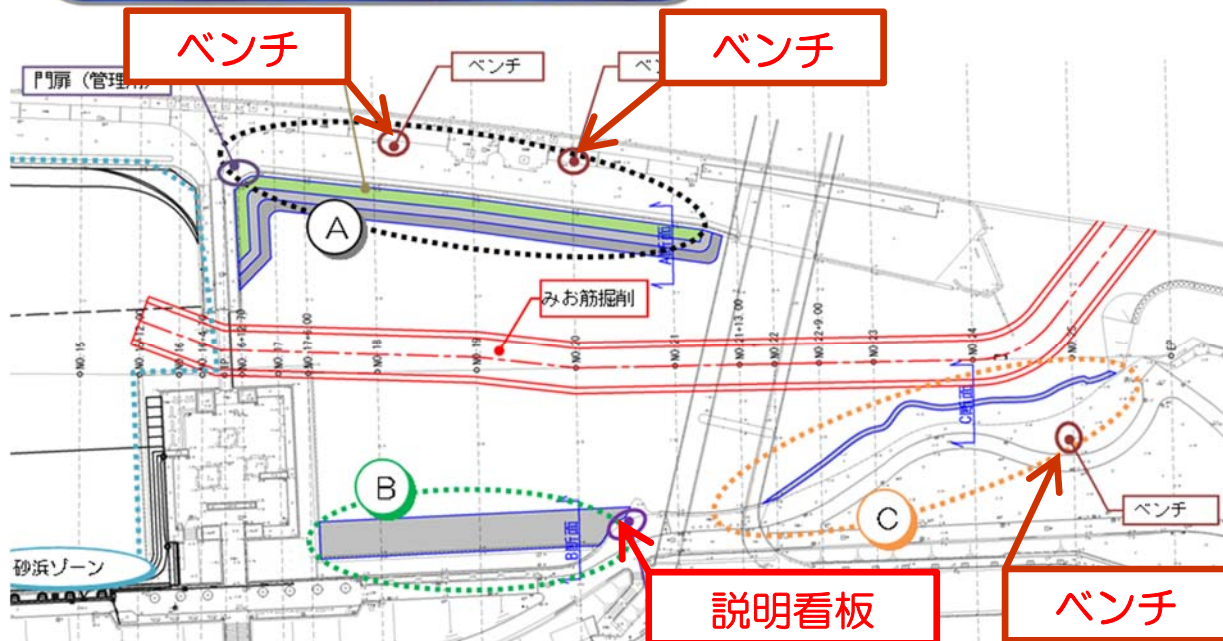


整備後



その他付属施設

説明用看板・観察用ベンチ・管理用門扉



4. 利活用と 維持管理について



地域(学校)との連携作業を通じ、
維持管理体制を構築

大阪市立東高等学校
大阪eco動物海洋専門学校

「利用に関する覚書」を締結
(H29.11)

○環境学習
生物・植物調査、植生実験

○美観維持活動
清掃や除草、花栽培



大阪市立東高等学校の環境活動(カキツバタ植栽)

①カキツバタ苗を採取



②堆肥を混合



③植え付け



④植え付け完了



大阪市立東高等学校の環境活動(カキツバタ植栽)



大阪ECO動物海洋専門学校の実践活動 (地引網で生物調査H30. 5. 26)

①事前練習の様子



②



③



④捕れた魚を学習



大阪ECO動物海洋専門学校環境活動 (地引網で生物調査H30. 5. 26)

地引き網で生物調査本番



| | | | |
|---------|-----|---------|-----|
| アユ | 14匹 | カマツカ | 1匹 |
| オイカワ | 14匹 | シロヒレタビラ | 1匹 |
| コウライモロコ | 39匹 | ゲンゴロウブナ | 1匹 |
| コウライニゴイ | 2匹 | スズキ | 19匹 |
| カワヒガイ | 5匹 | オオクチバス | 1匹 |

計 10種 97個体

5. さいごに

○住民参加型ワークショップで進めてきた結果

みんなで学び(歴史・環境)
みんなで考え(保全方法・景観)
みんなで実現(工事・協働)



環境保全の担い手を獲得
「利用に関する覚書」を締結

○今後は・・・

大阪ふれあいの水辺全体の利活用を促進

- 地域の小・中学校へPR
- 両ゾーンの利用者と連携した地域参加型イベント開催

地域の更なる大阪ふれあいの水辺ファン獲得を目指す

A scenic view of a park with cherry blossoms, a lake, and a city skyline in the background. The foreground shows a rocky shoreline next to a calm body of water. In the middle ground, there is a paved path lined with blooming cherry blossom trees. A small island with a bridge is visible in the lake. The background features a city skyline with several tall buildings under a clear blue sky.

ご清聴ありがとうございました